

## 特殊詐欺の認知状況（平成31年1月末） 個人情報削除名目の架空請求詐欺が多発！

### 1 平成31年1月中の認知状況

- 被害認知件数は**3件**（前年同期比－1件）
- 被害額は**約1億920万円**（前年同期比＋約9,830万円）
- 手口は、
  - ◎ 振り込め詐欺 3件
    - ・ 架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目） 1件
    - ・ //（その他の名目） 2件

### 2 県内で発生した特殊詐欺被害事例の紹介（1月中）

#### ○ 約9,800万円の高額被害が発生！

犯人グループ（ボランティア役、弁護士役、金融庁職員役等）が県内の高齢女性宅に入れ代わりで電話をかけ、被害者に「裁判員リストからの削除」に端を発したトラブルに巻き込まれていると信じ込ませました。

その中で犯人グループは、被害者に対して、電話で

- ・ あなたは警察に捕まる
- ・ 逮捕されないためにはあなたの通帳とキャッシュカードが必要になる
- ・ 家まで受け取りに行かせるので、その男に渡してください

などと順次うそを言い、これ信じた被害者に、被害者名義の通帳とキャッシュカードを交付させてだまし取ったものです。

犯人グループはだまし取った通帳等を利用して、被害者の口座から現金合計約9,800万円を引き出しました。

「逮捕される」、「裁判になる」などと不安をあおる電話は詐欺を疑い、一人で悩まず、すぐに家族や警察に相談しましょう。

～被害者の年齢・性別構成～

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

年齢	平成31年1月中		
	男性	女性	計
～ 19	-	-	-
20 ～ 29	-	-	-
30 ～ 39	1	-	1
40 ～ 49	-	-	-
50 ～ 59	-	-	-
60 ～ 64	-	-	-
65 ～ 69	-	-	-
70 ～ 79	-	-	-
80 ～ 89	-	1	1
90 ～	-	1	1
合計	1	2	3
内65歳以上の高齢者	-	2	2

交付形態	平成31年1月中
	件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	-
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	-
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	1
電子マネー型（コンビニで電子マネーを購入させる）	1
キャッシュカード受取型	1
収納代行利用型（コンビニ決済）	-
合計	3